



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岩政 孝 / 副会長：岡田 文俊 / 幹事：川島 千鶴

■2017～2018 年度クラブテーマ■

「温故知新」佐世保中央ロータリークラブです！

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：本田 実、大久保 厚司、宮崎 祐輔、有吉 中、片桐 康利、馬渡 圭一

本日の出席率 73.33%：会員数 47名・出席 27名・欠席 12名・出席規定免除会員(7) 6名・ビジター 1名
 前々回の修正出席率 91.11%：出席 28名・メイクアップ 7名・出席規定免除会員出席 6名



会長挨拶 / 岩政 孝君



先週欠席された方も多かったの
で、改めまして新年あけましてお
めでとうございます。やはりイン
フルエンザの大流行の為、まだ本
調子ではない方が多いようです。
事務局員も子供のインフルエンザ
の為に欠勤しております。

12月1月の事業について決算等
の事務処理ではご迷惑をお掛け致しております。

1月13日に佐世保南 RC 創立 60 周年式典祝賀会に幹事と共
に出席してきました。230名位の参加者で、姉妹クラブ・オー
ストラリア (コフスハーバー RC) 台湾 (台中 RC) から沢山の会
員も来日され、日本語・英語・中国語が飛び交う大式典でした。
我々も数年後に控えた30周年の事を想像しながら拝見し大変
参考になったと思います。

1月17日には当クラブが幹事クラブで「市内8RC+ 平戸・北松
浦・松浦合同会長幹事会」を行いました。第5グループ岩崎ガ
バナー補佐が主催される「2740地区第5・6グループ IM (イン
ターシティミーティング)」が5月12日(土)に開催される事に決
定しました。詳しい案内が来次第皆様にご案内いたします。
今年度も後半分となりましたが、まだまだ沢山の事業が残って
おります。

私も気を緩めることなく「温故知新」ロータリーを勉強してまい
りますのでご協力をお願いいたします。



本日のビジター紹介

北松浦ロータリークラブ

湊 浩二郎 様



幹事報告 / 川島 千鶴君

1. 例会変更

*なし

2. 来 信

■国際ロータリー

- ・国際ロータリー人頭分担金請求

■ガバナー事務所

- ・2740 地区ホームページ更新のお知らせ

①コーディネーターニュース 2018 年 2 月号

②2018-2019 年度テーマ「インスピレーションになろう」
を発表

3. 依頼・伝達

- ・昨日、第5・第6グループ会長幹事会が合同で行われ
ました。その中で IM については5月12日(土)13時30
分受付14時開会で開催される事が決まりました。5年
未満の会員及びそれ以外の方も是非参加して欲しいと
の事でした。
- ・本日は海上保安部長 佐世保港長の田中 健彦様の卓
話となっております。
- ・来週は認知症サポーター養成講座例会となっております。
皆様一緒に認定を受けましょう。

committee 委員会報告

職業奉仕委員会 野村 和義委員長

1月25日は、認知症サポーター養成講座例会です。皆様ご
出席よろしくお願いいたします。

中央会 本田 実君

1月20日(土)中央会の新年会を七彩の色の温泉で行いま
す。21日(日)は本番のゴルフです。よろしくお願いします。



結婚記念日

1月 1日 馬場 貴博・恭子 ご夫妻

1月 14日 大久保 厚司・ゆりえ ご夫妻

Birthday 今月のお誕生会員

昭和33年1月 1日 本田 実君
 昭和36年1月 2日 糸瀬 新君
 昭和45年1月 4日 吉野 英樹君
 昭和32年1月 12日 浅野 訓一君
 昭和34年1月 28日 崎山 信幸君
 昭和32年1月 30日 竹本 慶三君

**(^_^) ニコニコボックス****北松浦ロータリークラブ 湊 浩二郎様**

久しぶりの中央 RC へのメークアップです。お忘れなく、今年もよろしくお願いします。

岩政 孝会長・岡田 文俊副会長・川島 千鶴幹事

本日は、北松浦RC 湊浩二郎様、ご来訪ありがとうございます。本日は 海上保安部長 佐世保港長 田中健彦様の卓話となっております。港街佐世保のお話をご聴講ください。田中様どうぞよろしくお願いいたします。

山瀧 正久君

70歳になりました。これからもよろしくお願いします。

指山 康二君

孫が佐世保北中に合格しました。親・子・孫三代で「坂道のアポロン」を登校する夢が実現します。3月10日「坂道のアポロン」の映画が封切です。すばらしい映画です。全て佐世保ロケで小田和正のエンディングソングも素晴らしく「佐世保観光」のため「シネマボックス太陽」の救済のためにも皆様、是非映画を見に行ってください。

竹本 慶三君

誕生日プレゼントありがとうございます。

橋口 佳周君

なかなか出席できず会長・幹事他執行部の皆様にご迷惑をおかけします。又、指山さんのおかげで年末のディナーに行くことができました。ありがとうございました。追伸、長崎県知事 中村法道は私の大学の同期生です。

崎元 英伸君

ロータリークラブ入会後に生まれた長男が今年無事成人

式を迎えました。当時は、この子が成人する時私が65歳になるということで随分ご心配いただきましたが、あっという間の20年でした。

浅野 訓一君

61歳になりました。平和で豊かな日本を守ってくれている海上保安庁の皆様に感謝しより精進します。

本田 実君

お誕生日プレゼントありがとうございます。60歳になりました。まだまだ運動はしていきます。

崎山 信幸君

つつがなく28日を迎えたいと思います。本日はありがとうございます。

馬場 貴博君

結婚記念日の御祝いありがとうございました。当日1月1日は高熱で寝ており、ついに3日には入院するはめとなりました。おかげで9日迄共済病院にてゆっくりとした正月休みになりました。

糸瀬 新君

1月2日で57歳になりました。ありがとうございます。

芥川 圭一郎君

佐世保海上保安部長 佐世保港長 田中健彦様の訪問、大歓迎いたします。また、初めて聞かせていただく昼間の講話、楽しみにしております。よろしくお願いします。また、1か月遅れの誕生祝いありがとうございます。

吉野 英樹君

先日誕生日を迎えました。お祝いの気持ち、言葉、物品等ありがとうございます。年男としてワンドフルな一年を送りたいと思います。

本日の合計	26,000 円
本年度の累計	628,018 円

本日の卓話

佐世保海上保安部
 部長 / 佐世保港長
 田中 健彦様



【最近の海上保安情勢について】

海上保安庁は、国土交通省の外局として設置され、主に、わが国周辺海域のうち北緯17度以北東経165度以西の海域で法令の励行、海難救助等にあたっています。このため、全国で船艇455隻、航空機74機を運用するとともに、航路標識5,284基を設置管理しています。年度予算は、約 2,100 億円。定員は約 13,000 人で、比較的大規模な県警察と同等の人員で全国の海を守っています。

佐世保海上保安部は、第七管区に属し、長崎県北部と上五島西方海域を担当しています。組織体制は、部長、次長、管理課、警備救難課、交通課が設置され、所属船艇として、PM型巡視船「ちくご」・「あまみ」、CL型巡視艇「つばき」・「むらかぜ」・「あいかぜ」・「ことざくら」、放射能調査艇「さいかい」が配属されています。管理している航路標識は灯台や航路を示すブイ等132基です。佐世保港及び周辺の海域は、明治22年に旧帝国海軍が佐世保に鎮守府を設置して以来、日清戦争、日露戦争等に伴い海軍が日本海へ進出する上で重要な海域であったことから、主要な灯台も歴史に沿うように順次設置されたことが窺えます。

また、佐世保港の入口である高後埼付近は、幅約500メートルの狭い水路となっており大型船舶がすれ違うと衝突事故等に繋がるおそれがあります。また、佐世保港と大村湾の唯一の出入口であり経済活動上も安全保障上も極めて重要な水域でもあることから、総トン数500トン以上の船舶が狭い水路内ですれ違うことがないよう航行管制を実施しています。

本年は海上保安庁が設置から70周年の年です。佐世保海上保安部も海上保安庁発足当初から設置されましたので同様に70周年を迎えます。海上保安庁が設置された昭和20年代初頭、わが国周辺の海は敗戦に伴う旧海軍の解体や戦災等の影響で密航の横行、灯台等の壊滅、無数の機雷の漂流等暗黒の海と化していました。昭和21年、朝鮮半島におけるコレラの蔓延等を憂慮し運輸省海運総局に不法入国船舶監視本部が設置されましたが、不法入国の防止以外の業務即ち法令の励行、海難救助、水路測量、灯台管理等は各行政機関が独立的に所掌しており、これらを包括的総合的に担う機関の設置が望まれるようになりました。このような流れを受け、当時の GHQ の許可を経て、昭和23年5月1日海上保安庁が設置されるに至りました。昭和25年に制定された「海上保安の歌」の歌詞には、平和によみがえる祖国日本、機雷掃海、海の治安は万全等が見られ、当時の世相や当初の海上保安庁の業務と海上保安官の意気込みを垣間見ることができます。

当庁の歴史は、海上自衛隊とも深く関わっています。昭和25年の朝鮮動乱勃発後の昭和27年海上保安庁に海上警備隊が設置されますが、これが海上自衛隊の前身です。同年8月（海上保安庁とは別に）保安庁が設置され、海上警備隊は海上保安庁の掃海部門とともにこの保安庁に統合、昭和29年の自衛隊法施行に伴い海上自衛隊となりました。佐世保地方総監部は、昭和28年の設置ですので今年65周年を迎え、海上保安庁の70周年とともに一つの節目を迎えるということです。灯台関係業務も、本年150周年という大きな節目を迎えます。明治元年11月1日に日本初の西洋式灯台である観音崎灯台が起工され、こ

の日から数えて今年が150周年ということです。ちなみに、毎年11月1日は、灯台記念日として毎年関連行事を実施しています。

さて、最近わが国周辺の海が非常に複雑な状況となっていることはご存知のとおりであり、海上自衛隊と海上保安庁が連携して対応することも少なからず生じているようです。海上保安庁法と自衛隊法を比較すると、装備や権限の違いがわかりますが、反対に類似した部分も多々あります。

武力の行使と警察権の行使という本来の任務については、明確な違いが読み取れますが、北朝鮮の工作船事件以来頻繁に耳にする海上警備行動やソマリア沖等における海賊対処行動等においては、海上保安官の権限の多くが海上自衛官の権限として準用される等、非常に似通った部分もあります。ただ、海上保安庁法には、海上保安庁は軍隊として活動できない旨の規定があります。海上保安庁は米国沿岸警備隊を参考に設置された一面はありますが、同警備隊が合衆国法典上常に軍の機関であると規定されている点は似て非なる部分です。したがって、近年グレーゾーン事態という言葉も耳にしますが、自衛隊は武力と警察力の双方を持ち合わせていますが、海上保安庁はあくまで警察力で活動することとなります。いずれにせよ、全体で切れ目のない対応をとっていくということになります。

終わりになりますが、本日1月18日は「118番の日」です。海での事件、事故があればこの番号で海上保安庁に通報をお願いします。

